

**令和元年度 合同研修委員会で  
全建講習会参加に関する課題などを検討**  
—合同研修委員会—

令和元年8月20日（火）協会会議室において、岡村次郎委員長（国土交通省大臣官房技術調査課長）はじめ6名の本部研修委員と、全国から選出された14名の地区研修委員が出席し、合同研修委員会が開催されました。

第一部では、令和元年度の講習会開催にあたり地元自治体の協力について、事務局から地区研修委員に説明した後、質疑応答が行われました。

第二部では、会議冒頭の大石久和会長と岡村次郎委員長の挨拶に続き、事務局より講習会参加の現状と課題等について説明を行った後、本部研修委員及び地区研修委員による意見交換が行われました。

**—主な意見**

- ・会員には建築、設備、電気などの技術者もいるので、このような部門の研修を盛り込んでほしい。
- ・全建講習会は毎年同じようなテーマ設定になっている感じがする。パネルディスカッションのように生の声が聞けるような刺激も必要である。会員が希望している研修テーマを調査してほしい。
- ・全建講習会に参加した職員には、必ず報告会で発表してもらっている。本人の勉強にもなるし、講習会に参加できなかった職員にも参考になる。
- ・県の研修計画に全建講習会を位置づけたことにより、財政部局との研修会参加費用の予算折衝がしやすくなった。
- ・研修計画を策定すれば、職員の研修参加への意識が変わってくると思う。

**令和元年度 機関誌合同編集委員会で  
今後の編集方針などを検討**

—機関誌合同編集委員会—

令和元年8月23日（金）DAYS赤坂見附において、遠藤仁彦委員長（国土交通省港湾局技術企画課長）はじめ8名の本部編集委員と、全国から選出された8名の地区編集委員が参加し、機関誌合同編集委員会が開催されました。

委員会では、下記の議事が審議され承認されました。その後、月刊「建設」の記事などについて意見交換が行われました。

- 議事1. 平成30年度モニター調査結果（報告）
- 議事2. 昨年の合同編集委員会（2018. 7. 27）以降に実施してきた取組み（報告）

**議事3. 特集の年間計画（令和2年度）について  
—主な意見**

- ・「品質確保」については、今年6月に担い手手法が改正され、今後「基本方針」と「運用指針」が改正されていくと思われるので、可能であれば来年の特集テーマの順番を入れ替えるなど早めに実施した方がよい。  
→柔軟に対応していきたい。
- ・本県では、若手への技術伝承が課題となっているので、そのような取組み事例があれば参考になる。
- ・本市では、職員の確保が課題で、入職者が少ない現状にある。他の市町村等でこのような状況を克服した事例があるといい。
- ・「会員だより」のコーナーに「こういうことに成功した事例を知りたい」とかの投稿をしてもらえるようにすればよいのではないか。
- ・建築系の記事が少ないのが残念である。月刊「建設」が土木系の雑誌と思われる。その辺の意識改革ができれば、内容にも幅がでてくる。
- ・資格試験に役立つ豆知識のようなミニコーナーがあると、継続して読んでもらえるのではないか。
- ・「クイズにチャレンジ」のコーナーは、なるべく後ろの頁に掲載して、全部読んでからクイズに答えてもらえるようにしたほうがよいと思う。
- ・失敗事例のような記事を個人的にもよく読むので、このような内容は拡充してもよいと思う。
- ・読者層は発注者が多く、発注者は受注者にシビアに評価されているので、受注者側の視点を掲載すると参考になるのではないか。

**第653回建設技術講習会を長野市で開催**

第653回建設技術講習会が、長野市で令和元年8月28日（水）～30日（金）の3日間、「上水道行政の課題・下水道行政の課題」をテーマに、全国から272名の参加を得て開催されました。

講習会初日は、下記の2講演と講習会3日目の現場研修で視察する地域事業の事前紹介が行われました。

- 水環境改善に向けた取り組みについて
- 令和時代における災害レジリエントな上下水道システム
- 地域事業の紹介 2事例

講習会2日目は、下水道部門と上水道部門の2会場に分かれ、それぞれ下記の講演が行われました。

**【下水道部門】**

- 下水道行政の最近の動向について

- 名古屋市における下水道施設の浸水対策の取り組みについて
- 横須賀市における下水道施設のストックマネジメントの取り組みについて
- 石川県における下水道資源の有効活用の取り組みについて
- 下水道における最新の技術開発動向について

【上水道部門】

- 水道行政の最近の動向について
- 水道水質管理の最近の動向について
- スマート水道メーターの最近の動向について
- 宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について
- 水道事業における労働災害の防止

講習会3日目の現場研修は、128名が参加して「長野県千曲川流域下水道上流処理区管理事務所（アクアパル千曲）」、「川中島水道管理事務所」、「長野市犀川浄水場」、「長野駅善光寺口駅前広場整備事業、長野駅周辺第二土地区画整理事業」について現地説明を受けました。

また、1日目の講習終了後、「参加者同士の交流会・講師との意見交換」を56名の参加をいただいて開催しました。地元協会のご好意により、地酒やワインなどのご提供もあり、盛況のうちに終了となりました。



（国研）土木研究所 水環境研究グループ 水質チーム 山下上席研究員の講演の様子



現場研修の様子  
「アクアパル千曲」

**第1回技術者連携交流分科会が開催され、技術者の連携交流について討議**

—技術者連携交流分科会—

令和元年9月4日（水）協会会議室において、吉岡大藏委員長（国土交通省大臣官房技術調査課技術企画官）はじめ7名の委員が参加し、技術者連携交流分科会が開催されました。

委員会では、会議冒頭の大石久和会長のあいさつに続き、吉岡大藏委員長のあいさつ、各委員の紹介、分科会設立趣旨の説明の後、下記の議題について討議を行いました。

- 議題1. 建設技術関係者を取り巻く現状と課題
- 議題2. 建設技術関係者の連携・交流に関するこれまでの取組事例
- 議題3. 今後の検討の進め方

—主な意見

- ・若手と先輩の取り組みでは、若手育成担当官と幹部職員が連携して、若手技術者の技術力向上を図るため、年に2回ほど面談して、悩みを聞いて、上司に伝えながらサポートとしている。
- ・退職した先輩が「防災エキスパート」となり、現場で防災上の問題点がないかを見ていただいている。今までの経験をもとに指摘していただき、現役職員がそれを吸収していくことで、技術の伝承につながっている。
- ・災害の応援派遣で他県へ行ったことがあるが、組織によって仕事のやり方が違うことを実感した。また、多くの人と知り合い交流することで、困ったときに相談する人ができた。
- ・特定行政庁であり共通の悩みを抱えている近隣4市で、年に4回ほど建築主事の会合を開いている。このなかで、建築基準法の解釈など様々な事例について学ぶなど技術交流を行っている。

**第654回建設技術講習会を大津市で開催**

第654回建設技術講習会が、大津市で令和元年9月11日（水）～13日（金）の3日間、「工事積算（土木・建築）の動向とi-Constructionの取り組み」をテーマに、全国から294名の参加を得て開催されました。

講習会初日は、下記の2講演と大石久和会長をコーディネーターに若手職員3名、先輩職員3名によるパネルディスカッション「新しい時代における公務員技術者の使命」が行われました。この詳しい内容については、月刊「建設」に掲載する予定です。

- インフラの整備と経済成長
- 建設マネジメントの最新情報

講習会2日目は、下記の5講演と講習会3日目の現場研修で視察する地域事業の事前紹介が行われました。

- 公共建築工事の円滑な施工確保対策について
- 土木工事標準歩掛の最新の動向と適用上の留意点について
- 公共工事と会計検査
- ヒューマンエラーの原因と対策
- i-Constructionの貫徹に向けた取り組みと技術基準の新設、積算基準の改定と建設工事における事故と安全対策について
- 地域事業の紹介 2事例

講習会3日目の現場研修は、194名が参加して「新名神高速道路大津JCT建設工事」、「草津川跡地整備」、「金勝川広域河川改修事業」について現地で説明を受けました。

また、1日目の講習終了後、「参加者同士の交流会・講師との意見交換」を68名の参加をいただいて開催しました。活発な意見交換が行われ、盛況のうちを終了となりました。



パネルディスカッション  
「新しい時代における公務員技術者の使命」の様子

### 令和元年度公共工事品質確保技術者 資格更新講習始まる

公共工事品質確保技術者資格試験に合格し資格登録した資格保有者は、3年毎に更新講習を受講して資格登録更新手続きをする必要があります。

この資格登録を更新するための令和元年度更新講習が、9月10日の東京都を皮切りに始まりました。最終となる11月8日の大阪市、福岡市まで、東京

都を含めて全国10都市で開催されます。更新講習を申し込まれている皆様は、受講場所と日時をご確認のうえ、講習にお越しください。

なお、10月以降の実施都市及び日程は、以下のとおりです。

講習会実施都市と日程

札幌市 令和元年10月4日(金)	仙台市 令和元年10月18日(金)	新潟市 令和元年10月25日(金)
名古屋市 令和元年10月11日(金)	大阪市 令和元年11月8日(金)	広島市 令和元年10月18日(金)
高松市 令和元年11月1日(金)	福岡市 令和元年11月8日(金)	浦添市 令和元年10月25日(金)

#### 【問い合わせ先】

事業課 下野 高野 古川

TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

E-mail: hinkaku@zenken.com

### 「令和2年 2020全建手帳」 掲載内容を充実し、販売中!

「令和2年 2020全建手帳」を発行します。やわらかな作りで手に馴染みやすく、使い易いと好評をいただいています。令和2年版は、建設技術者にとって必要な「インフラ情報を満載!」建設技術関係の月間や記念日、高速道路等の開通日、大きな災害の発生日、イベント予定日などの掲載をさらに充実させました。

主な特徴は、次のようなものです。

- ・A6版サイズで、記入スペースが広く使いやすい大きさです。
- ・便利なペン差し付き大型ポケットを備えています。
- ・資料編には、近代日本の主な災害、災害用伝言ダイヤル、都道府県データ、関係機関の電話番号、年齢早見表など、多くの資料が掲載されています。
- ・カレンダーの収録期間が2019年11月1日から2021年3月31日までと長く、新しい手帳の移行に便利です。
- ・定価 713円(税込)

#### 【問い合わせ先】

企画課 露木 竹村

TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

E-mail: kikaku@zenken.com